

JSCA九州 1-版

発行・日本建築構造技術者協会九州支部
 TEL 092-406-7204 / FAX 092-406-7214
 Web Site : <http://jscakyushu.jp/>
 E-mail : info@jscakyushu.jp

2023年巻頭言



2023年1月 JSCA九州支部長 今林 光秀

JSCA九州支部会員ならびに賛助会の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の正月も良く晴れて昨年同様に暖かく穏やかで人出もあり、私も初日の出を見に行き 2023年の幕開けにふさわしい良い正月を過ごしました。日の出について、去年の九州支部役員会で福岡に来られた宮崎地区会の方から「福岡は山から日の出で海に日が沈みますね、宮崎では海から日の出で山に日が沈むので新鮮でした。」と言われました。何気ないひと言でしたが、同じ日の出/日の入りも見ると違って違うのだと、多様な価値観を尊重する大切さを想いました。これは日々の生活や仕事にも言え、同じものでも人によって見方や考え方は様々、それらすべてが貴重でベテラン・若手に関係なく他者を否定せず尊重した上でしっかり自分の考えを述べる必要なのだと信じます。そんなこと誰でも頭ではわかっているでしょうが、なぜか世の中では“分断”などと言われ悲しく感じています。自分も含めて JSCA 九州の活動でも、この“尊重”と“自己表現”は大切にしたいです。

2019年5月に支部長となり早や2期4年が経ちました。慣例では支部長交代の節目ですが、周囲の方々からのありがたい激励とコロナ禍で十分な役目を果たすことが叶わなかったこともあり3期目として支部長を続けさせて頂きたく存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。



初日の出：愛宕神社 2023.01.01

昨年 2022 年は何と言っても「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」6月開催大成功に尽きると思います。3回の延期を乗り越え、沖縄地区会皆さん・九州支部 WG 皆さん・本部 WG 皆さんが4年間一致団結して尽力した成果であり、夕方雨上がりのビーチに射した夕陽は関係者皆様への神様からの贈り物に見え感無量でした。今年の構造デザイン発表会は東京、来年は東北支部開催の予定です。九州支部からも多数の皆さんが発表・参加されることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

2023年の支部活動も“かかわりを強く”をモットーに明るく楽しく頑張りたく存じます。3月には支部間交流として北海道支部から若手数名が青年部会/なでしこ会/特殊構法系部会による張弦梁勉強会に参加されます。5月総会では九州構造デザイン発表会と4年ぶり開催記念講演会「榊田洋子さん」そして懇親会を行います。また、2019年に行った建築家とのパネルディスカッションの第2弾をしようと JIA 九州支部とも画策中です。その他、様々な部会にて講習会・見学会を企画しますので、多くの皆様の積極的な参加をお待ちします。JSCA 九州支部会員および賛助会の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年を迎えて



副支部長 重松 正幸

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。この正月いかがお過ごしだったでしょうか。2020年以前のように帰省や旅行といった正月らしさを楽しんだ方も多いかもかもしれません。私は年始に新たな目標などを立てることを恒例にしていますが、今回は少し気持ちを変えたくて、年末に一年の振り返りと新たな目標を立てる時間を作りました。いつもと違う取り組みは新鮮な気持ちになれてよいものでした。

さて、JSCA九州の2022年を振り返ってみると、過去2年と比べ様々な活動ができたと思っています。中止・延期を乗り越えやっと開催できた「デザイン発表会 2021 in 沖縄 (2022年6月4日開催)」については、会員の皆さんの手元に届いている structure No.165 (2023年1月発刊) に主集として掲載されているのでぜひご覧ください。今年は、かつての対面の良さも取り戻しつつ、過去3年間のコロナ禍で試行錯誤した取り組みを活かしながら、JSCA九州の運営・活動を発展させていきたいと考えています。

皆様の健康とより一層のご活躍を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



副支部長 松下 淳一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

ここ2年間と異なって街に観光客があふれる様子が印象的な年末が過ぎ、少し新鮮な気持ちで新しい年を迎えました。とは言え、身近に感染者が増えており、諸団体の活動はまだ全開とはいかないようです。

その中においても九州支部では2022年も、様々なイベント・講習会・見学会等が少しずつですが活発に行われ、支部内の交流が深まっています。参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。

これまでに私自身も構造技術に関する情報を建築学会や行政機関等から多くいただいてきましたが、JSCAも同様の役目を担っているものと思います。JSCAは技術者団体であるので、実務に役に立つ情報を提供する使命が求められることなのでしょう。それと同時に実務者からあがる設計手法や手続き等に関する諸問題や不合理などを広く知らせることも重要と思います。多様な方のご意見をいただければ幸いです。JSCAへの新たな人材の参加が進んで違った視点から組織を支えて、新旧が融合していくことを願いたいと思います。

皆様のJSCAへの参加をお願いするとともに、ご活躍ご健勝をお祈りいたします。どうぞよろしく願います。

技術委員会



技術委員長
(有)福岡構造 吉村 泰広

新年あけましておめでとうございます。

2019年に九州支部技術委員長に就任して5年目に入る年です。1月で62歳になり、子供たちも皆結婚し、孫も5人になりました。振り返ると「これまでの4年間で何をしてきたのか」、「もっと出来ることがあったのではないか」気に掛かることばかりです。

2019年は韓国免震制振協会創立15周年記念式典へパネリストとしての参加、2020年はJSCA本部・九州支部合同技術委員会（九州場所）開催、2021年はBIM-WG新設、2022年はJSCA本部や福岡建築構造設計事務所協会、九州免震普及協会などの他協会との連携強化を進めました。

昨年のご挨拶で、「DX化が進み、WEB利用することで新しい活動の在り方が進み、「以前までの日常」ではなく「新しい日常」を想像する」と書きましたが、現実に「新しい日常」が「日常」になったと思います。これからはダイバーシティなど更に「新しい日常」へ向けて進むことを想像します。

本年は、「九州から何が発信できるか」「九州から全国へ、世界へ」を考え進めたいと思っています。また、BIM-WGをプログラム部会への昇格も目指しています。そのためには九州支部技術委員会各部会・地区会の皆様の協力をはじめJSCA本部技術委員会、九州免震普及協会、福岡建築構造設計事務所協会などの他協会との更なる連携が必要だと感じています。

本年もよろしくお祈りします。

設計基準系部会



設計基準系部会長
(株)織本構造設計 都筑 清

新年あけましておめでとうございます。

昨年の活動は、まず度重なる延期に見舞われた構造デザイン発表会 in 沖縄が6月について開催され、無事終了しました。ご協力・ご参加の皆様、ありがとうございました。10月には福岡県建築適合性判定機関主催の「判定事例による質疑事項と設計者の対応集」改訂の講習会とJSCA主催の講演「一貫構造計算プログラムの特性比較について」を同時に、設計部会として初の会場とオンラインの併用で開催させて頂きました。どちらの講習も大変多くの方にご参加いただき、九州以外の遠方の方からの参加もありました。この場を借りてお礼申し上げます。

2022年はロシアのウクライナ侵攻など激動の年であり、建築界も「変化」を求められています。例えば11月のJASS5改定は、地球温暖化抑制や資源循環に対する要求の高まりとともにSDGs達成への社会の共通目的化、情報技術の進歩などの時代の変化に適応するための内容となっています。私自身も「今までどおりの設計」ではなく、情勢に適応して変化していくよう心がけていきたいと思っています。

「卯年」はその姿から飛躍や向上の年とされているようです。皆様にとってそのような年になることを祈りつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。

応答制御設計部会



応答制御設計部会長
エス・エー・アイ構造設計(株) 上野 敏範

皆様、新年あけましておめでとうございます。

2017年より活動を始めました応答制御設計部会では、引続き、免震構造や制振構造を、特殊なものとするのではなく、一般化することを目標に活動を始め、7年目を向かえます。

昨年は、「住まいるフェア福岡 2022」(10月)に協賛し、免震装置メーカー「THK株式会社」の免震体験車の試乗会を行いました。多くのみなさまに、「耐震構造」「免震構造」の建物の揺れの違いを体験していただき、前回同様、言葉だけでは伝わりにくい建物の耐震性能を感じていただくよい機会になったと思います。

昨年より企画しております、WEBを活用したイベント(地盤調査と入力地震動講習会、免震構造動的振動勉強会)を他の部会との共同での実現に向けて準備中です。

皆様のご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

基礎地盤系部会



基礎地盤系部会長
(株)梓設計 齋島 健夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年の基礎地盤系部会の活動として「地盤調査ハンドブック」の勉強会に力を入れてきました。ほぼ毎月のように15名程度の方に参加していただき活発な意見交換を行うことができました。その結果、多くの方の協力のもとひとつの成果をあげることができました。

今年の活動は、この改定した「構造設計者のための地盤調査ハンドブック」の講習会を主軸に、多くの方々と基礎・地盤について意見交換できるような勉強会を企画していきたいと思います。

With コロナの時代、リアルとウェブをうまく併用しながら、基礎・地盤に関する様々な情報を皆様に届けていきたいと思いますので、本年も宜しくお願い致します。

鉄筋コンクリート系部会



鉄筋コンクリート系部会長
 (株)大林組 木村 正人

新年明けましておめでとうございます。

昨年は激動の年でした。前半は、ウクライナ侵攻、安倍首相銃殺、旧統一教会問題と暗いニュースが続きましたが、年末のサッカーワールドカップでの日本の活躍により気持ちが盛り返した感があります。また、「with コロナ」社会に移行し、新しい生活スタイル、業務スタイルが、さらなる変化を継続していると感じています。

JSCA 九州においては、「デザイン発表会：沖縄」が盛況に開催され、準備されてきた方々が報われて大変うれしく思います。なお、部会としては、2年越しの企画となりました『配筋標準図勉強会』を開催することができ、みなさまの常日頃の苦悩を共有できたのではないかと考えています。本年2月には脱炭素を目的とした『水素・エチレン混合ガス圧接、天然ガス圧接（エコスピード）』の勉強会を開催致します。奮ってのご参加をお待ちしております。今年も皆さまのご理解とご協力、どうぞ宜しくお願い致します。

鉄骨系部会



鉄骨系部会長
 鹿島建設(株) 井手 文雄

あけましておめでとうございます。

昨年は3年越しの「構造デザイン発表会 in 沖縄」が無事に開催でき大変喜ばしく思います。発表会開催に特にご尽力されたWGおよび沖縄地区会の皆様には大変感謝いたします。

世界的にはコロナ感染減少（日本ではそんな感じはしませんが）によって経済活動が活発になり、それに伴って燃料や資材価格の高騰が起きています（これは日本でも感じられますね）。建設資材も例に漏れず、入手困難・価格高騰の状況で、皆様には日ごろの設計業務でもスケジュール調整、コスト調整にご苦労されていることと思います。さらに高騰するのか、それとも下がる方向性もあるのか先が見えない状況ですが、今後の動向は注視していきましょう。

今年は卯年です。うさぎは跳躍する姿から、飛躍・向上の象徴とされ、新しいことに「挑戦」するのに最適な年と言われているそうです。

当部会では、昨年後半から青年部会・鋼構造サブネットワークの鉄骨ディテール集改定活動に参画し、ディテール収集や鉄骨ファブリケーターとの意見交換を開始したところです。今年も引き続き充実した成果を目指し、様々な情報発信活動に「挑戦」していきたいと思っております。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

木質系部会



木質系部会長
 (株)川崎構造設計 宮崎 大介

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は「JSCA 構造デザイン発表会 2021in 沖縄」が無事開催されました。九州支部 WG メンバーとして関わらせて頂き、準備や司会等のお手伝いをさせて頂きました。開催準備及び運営にご尽力された方々に微力ながらご協力できたことをうれしく思います。大変貴重な経験をさせて頂きましてありがとうございました。

サッカーワールドカップがカタールで開催され、にわかファンである私は日本の快進撃に大きく勇気づけられました。私はアルゼンチン推しでしたので、メッシが 5 度目の挑戦でワールドカップを手にした瞬間を目撃でき、非常に印象に残る大会でした。

部会としての活動はできておらず、申し訳ありませんが、今後も技術情報に限らず、木材流通等幅広い情報提供の場を設けさせて頂ければと思います。

特殊構法部会



特殊構法部会長
 (株)ピーエス三菱 石井 孝幸

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えの事と思います。

昨年は、第 7 波の流行時期と重なり 5 年ぶりの PC 構造の設計勉強会を残念ながら延期いたしました。お申込みいただいた方には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。さて来る 1 月 20 日には PC 構造の設計勉強会を今度こそは開催いたします。「リアルとリモートの良さを生かした活動を行う」を部会目標にしておりましたが、講師陣の希望でリアルでの開催となります。まだまだ第 8 波の渦中ではありますが、2 月ころに現場見学会も企画しておりますので詳細が決まりましたらご案内いたします。

今年は 40 番目の干支で「癸卯（みずのと・う）」の年です。癸卯はこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられるようです。

特殊構法部会は、「他の部会に属さない特殊な構法、構造をテーマに広げる」に努力し頑張りたいとします。皆さまの要望や意見などをお聞かせ下さい。

本年も引き続き特殊構法部会運営に関しましてご支援をよろしくお願いいたします

耐震改修部会



耐震改修部会長
 (株)香月設計 香月 博己

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、印象づける漢字として発表がありました「戦」のとおり、新型コロナウイルス、ロシア・ウクライナ事情、サッカーワールドカップなど、世の中が何かに立ち向かうという一年だったと感じました。

耐震改修部会では、10月になでしこ会と共同で「熊本城天守閣の復旧と耐震補強」の勉強会を開催しました。講師の堂地氏より、柔軟な発想による省スペースでの補強方法、施工の際の様々な工夫等を説明していただき、その後興味深い内容の質疑応答もなされました。コロナ禍で感染状況を鑑みつつ、一昨年はWEBでの講習会でしたが、昨年は多人数ではなかったものの何とか対面での勉強会が開催出来たことをうれしく思っております。関係各位に感謝申し上げます。

今年は木造戸建住宅、既存特定天井、既存ブロック塀等の耐震診断、耐震改修又は企業、賛助会の商品等の中から講習会や勉強会を開催したいと思っておりますので、皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

シニアアドバイザー



シニアアドバイザー部会長
 吉原建築構造計画 吉原 浩晃

皆様、新年明けましておめでとうございます。
 本年もどうぞよろしくお願いたします。



構造デザイン部会



構造デザイン部会長
(株)久米設計

伊藤 淳

新年あけましておめでとうございます。

発足二年目となった昨年5月の九州構造デザイン発表会は初めて対面とオンラインを併用して実施しました。若干、準備や質疑応答の（会場とオンライン側の）振り分け等で作業量は増えましたが、青年部会長の安達さんのご協力もあり、大きなトラブルなく運営出来ました。一方で、会場の発表者以外の挨拶や質問される方の様子をどの様に映すか（あるいは映す必要がないのか）課題が残ったように思います。

9月には、ワンス設計事務所(株)の尾宮さんが設計された「本部港の荷捌き施設」の構造デザインを題材に。意見交換会を行いました。尾宮さんの大変特徴的なプレゼンも面白かったのですが、質疑や意見が活発に交わされ盛り上がったと思います。

今年もまずは九州構造デザイン発表会を行います。オンラインも便利ですが、対面参加の方が増えることを祈りつつ、引き続きご協力の程よろしく願いいたします。

青年部会



青年部会長
(有)福岡構造

安達 亮平

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

JSCA九州支部の2022年は??と問われて、構造デザイン発表会と答える方も多いのではないかと思います。いくつもの障壁を乗り越えて開催された沖縄での発表会は大成功をおさめ、ビーチパーティーのころには曇天も晴れ、綺麗な夕日までもが顔を出すという奇跡で締めくくられました。改めてみなで集まって実施することの素晴らしさ、九州支部の仲間の素晴らしさを実感できたイベントでした。関係者のみなさま、どうもありがとうございました。

昨年青年部の活動として、8月と12月に構造デザイン関連の勉強会を開催しました。いずれも10名前後の参加でしたが、大人数で開催される講習会とは異なり活発な意見交換会が行われ、青年部らしい良い勉強会になりました。今後も様々なテーマで勉強会を企画したいと思います。

2023年の最初の青年部会の活動として、3月に張弦梁勉強会と鉄構工業会との意見交換会を企画しています。広く多くの方にご参加いただければ幸いです。勉強会のみならず、個人的に最も有意義な場と思う懇親会も定期的で開催したいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

なでしこ会



なでしこ部会長
(有)中野構造設計 松田 千恵

新年あけましておめでとうございます。

昨年のなでしこ会活動は、3月に活動発表会、4・6月にミーティング、7月にサミット（女川復興レポート）とオンライン中心で行いました。定期的なミーティング実施は行えなかったのですが、構造デザイン部会・青年部会、耐震改修部会にお誘いいただき、共催の勉強会を開催、BIM-WG・鋼構造サブネットワークの活動への参加と幅広く活動することが出来ました。また、ご紹介による新規入会もありました。活動にご協力いただきありがとうございました。

今年は、久しぶりの対面でのミーティングや昨年出来なかった勉強会を実施したいです。また、なでしこ会の通常の活動以外でも、他部会・サブネットワークの活動に協力しながら、個人の技術力アップと人脈形成を進めることが出来ればと思っています。

本年も皆様のご協力とご支援に感謝しながら活動を続けてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

広報委員会



広報委員長
オリエンタル白石(株) 福田 顕議

JSCA九州支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

毎年恒例ですが、広報委員会最初の仕事は、このメール版新春号の編集と配信です。役員の皆様、地区会幹事の皆様、お忙しいところ新年早々の原稿執筆ありがとうございました。充実した広報のため、皆様に執筆等ご協力頂くこともあるかと思いますが、その際は何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年の6月には、何度も延期になったJSCA構造デザイン発表会 in 沖縄がついに開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。WG委員のメンバーをはじめ沖縄地区会の皆様。本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

これからのJSCA九州支部は、徐々に活動も再開されてくるかと思っています。各種講習会や見学会の情報がございましたら、事務局や広報委員会にご一報いただければ、JSCA九州支部のホームページ<http://jscakyushu.jp/>でアナウンスさせていただきます。一人でも多くの参加いただけるよう、広報委員会も微力ながらお手伝いさせていただきます。広報という名の通り、2023年もJSCA九州支部の魅力会員その他一般の方々に、広くわかりやすくお知らせしていく所存です。本年もどうぞよろしく願い致します。

事務局



事務局長
(株)JE 構造設計 恵藤 宏光

皆様、新年あけましておめでとうございます。

今年度は大きな行事として、数度の延期を経てようやく構造デザイン発表会 2021in 沖縄が開催されました。感染対策を十分に行った上での大人数での対面形式の開催でしたので、ようやく with コロナの日常生活の本格的な幕開けかと、ホッと胸をなでおろしたことを思い出します。また、WEB との併用とはなりますが、対面形式での講習会や勉強会の実施が増えてきていることに嬉しく思うと共に、開催に携わった方々へ深謝いたします。皆様、日々の JSCA の活動に尽力して頂き誠にありがとうございます。

今年から事務局の体制を見直していく予定です。事務局の業務を明確化し、皆様にオープンすることで「事務局」というものを親しみやすく感じて頂き、今後の JSCA 九州支部の活動を滞りなく継続していくための必要遷移とご理解頂ければ幸いです。業務の分担等で皆様のご協力が必要となりますが、何卒よろしく願いいたします。

加えて、例年通り今年も会員の皆様への円滑な情報伝達を行うべく、引き続き事務局として活動していきたいと思っております。会員外の皆様も活動をご覧になられた方々には、新規会員として入会頂ければ幸いです。今後とも、会員・支部幹事・地区幹事の皆様・賛助会員の皆様よろしく願いいたします。



地区会



北九州地区会幹事

(株)松尾設計 牛尾 忠信

新年、明けましておめでとうございます。

北九州地区会幹事の牛尾です。

コロナの感染者がまた増加していますが、その様ななか、対策をしながら付き合う術をみつけ、動き出した様と感じます。北九州地区では昨年に続き今年もテーブル席で北九州建築6団体新年賀詞交歓会を開催する予定です。

北九州建築6団体とは、持ち回り順に紹介すると北九州建築設計監理協会、JSCA九州支部北九州地区会、北九州設備設計監理協会、福岡県建築士会北九州地域会、日本建築家協会九州支部北福岡地域会、福岡県建築士事務所協会北九州支部です。

JSCA北九州地区会の活動は、コロナのため、人を集めて何かをすることは難しいと理由付けして今に至っています。

この1年、ほとんど会社の業務で日々を重ね、北九州地区会として何も残していないことに考え込む日々です。

JSCA北九州地区会としての活動が停滞して3年を経過しました。昨年、JSCAでは、イベント、講習会をリモート及び会場で開催されるようになってきました。

令和5年(2023)は、何か出来るのではと期待が持てるようになってきました。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



佐賀地区会幹事

(株)石橋建築事務所 今村 敬

新年あけましておめでとうございます。昨年佐賀地区幹事を引き継ぎました。

新型コロナウイルスについては引き続き警戒が必要な状況が続いています。リモートワーク環境が整備され、構造設計上のやり取りも比較的スムーズに進められるようになってきました。それでも、対面でのコミュニケーションに比重があった以前と比べて、細かいニュアンスの伝わりづらさがあるように思います。

佐賀地区会においては、コロナ収束後に延期とした県外への視察が未実施であるほか、地区総会も書面報告になるなど、ウィズコロナ時代に即した地区活動を模索している状況にあります。とはいえ、構造設計を取り巻く技術は日進月歩、今出来ることに取り組み、地区会会員の皆さんとともに技術向上を図るほか、活発に取り組んでいきたいと考えています。

本年もよろしく願いいたします。



長崎地区会幹事

(有)百田建築設計事務所 平川 雅敏

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、勉強会や例会を久しぶりに対面にて開催することができました。今年2月には長崎大学陳助教による講演会も対面にて開催を予定しております。昨年度に続きまして地区会でお世話になっています先生方が日頃研究されています内容を講演頂き、地区会では講演会の前に勉強会を開催し、少しでも多くのことが理解できるようにしたと考えています。また、昨年は中止となりました、長崎県鉄構工業会との合同懇談会も開催予定です。会員や先生方の協力で活動ができた一年になったと考えています。ありがとうございます。今年も、できることを、地区会会員で話し合い一丸となって、活動していきたいと思っています。よろしく願い致します。

最後に九州支部会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



熊本地区会幹事

(有)かいしん設計室 甲斐 信親

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、沖縄で「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」が開催され成功裏に終わりました。若い構造設計者の熱い話が聞けて大変楽しい一時でした。また、熊本でも「建築士事務所全国大会」が開催されました。少しずつ日常が戻りつつあると感じる今日このごろです。しかし、コロナ感染症はまだまだ納まる気配がない状況です。みんなで少しずつ感染に気を付けながらリモート会議とかいろいろ工夫してこれからの日常を作っていくしかないのではと考えています。

さて、熊本地区会の幹事として6年目となりました。そろそろ若い世代にバトンを渡したいと思うところです。これからの構造設計は、やはり若い構造設計者にかかってくると思います。年々私を含めた構造設計仲間の高齢化が気になっています。とにかく若い構造設計者を増やしたいところです。構造設計の魅力や楽しさを講習会や勉強会等を通じて伝えていければと考えています。もっともっと若い構造設計者が増えることを願っています。



大分地区会幹事

(有)ケイシン設計 山本 伸二

新年あけましておめでとうございます。

昨年は4回の見直しとコロナ禍で心配をされていました「構造デザイン発表会」が多くの参加者で執り行われました。準備を長く費やした各担当者様は本当にご苦労様でした。苦しい決断のなかでの開催でしたが沖縄の豪雨上がりの夕焼けや舞が安堵と達成感や清々しい気持ちを抱かせたのではないのでしょうか。開催と閉会のお言葉やお顔に感慨にひたりました。

大分地区会でも年間の計画行事はコロナ感染者の増大により対応には苦慮してきたところです。手法や中止、延期の対応で少ない中でしたが会員との歩みを行う事が出来ました。年度の始まりではWEBでの勉強会を大分地区会協会のジャパンパイル(株)内野様、三谷セキサン(株)金崎様、康守様のご協力で行う事が出来ました。WEBでの慣れない作業でしたがありがとうございます。また、年末には会員による講演会を2回シリーズで企画しております、会員も有意義な時間を過ごしています。停滞する世情の中ですが年末を迎えることが出来ました。

本年度の大分地区会は新役員体制となります。皆様と活発な活動が共にできるようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



宮崎地区会幹事

元確認機関・元適判機関 川越 義雄

あけましておめでとうございます。

昨年、地区会の諸事情により14年ぶりに幹事に任命されました。6月には成功裏に終わった「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」に参加しました。長期間ご苦労された皆様は大変お疲れ様でした。閉会式後の宜野湾の奇跡的な夕日にJSCA九州の熱意を強く感じました。

5月のJSCA九州総会に久しぶりに出席し、地区会のオンライン化、役員若返り、若手会員の勧誘を痛感させられました。オンライン化については、9月に地区会専用のPCを購入し、リモート担当者によるZoom講習などで少しずつ進めています。役員若返りについては、若手の方に幹事、事務局の補佐として参加してもらい一緒に活動・勉強しています。若手の会員増についても少しずつですが成果が出ています。

また、建築家協会や建築士事務所協会などからの共催講習会の誘いがありました。他団体との情報交換の場につながればと思い、できることについては積極的に協力しています。

本年も技術の研鑽に努め、明るく笑顔でピョンピョン飛び跳ねたいと思っています。

宮崎地区会を宜しくお願い致します。



鹿児島地区会幹事

(有)リソー・エンジニアーズ 白坂 哲也

謹んで新春をお祝い申し上げます。皆様、どのようなお正月をお過ごしだったでしょうか。

「一年の計は元旦にあり。」計画性のない人間にとっては耳が痛い言葉です。そもそも元旦は、連続している時刻経過のある一点(一日)にすぎないので、元旦に拘らなくて良いではないか?と思うのです。

「人間、志を立てるのに遅すぎることはない。」(スタンリー・ボールドウィン)と言うではないですか!と言って「いつからでもいいや」となって、始動しないダメな私。

ところがですね、4年前に長期計画の志を立てたのですよ。こんなに自ら学ぼうとしたことが、53年生きていてあったろうか?今年57歳。(もちろん一級建築士建築士、構造設計一級建築士の試験勉強はしましたよ、仕事に必要なので。)

何を勉強しているかは、また来年のこの欄で。良い成果を報告できるよう頑張ります。



沖縄地区会幹事

(株)ケイ・ツー設計 小波津 和也

明けましておめでとうございます。2023年が皆様にとって真に良い年となることを心より祈念しています。昨年6月4日土曜日に念願?の「JSCA 構造デザイン発表会 in 沖縄」を開催いたすことができました。開催するにあたり準備がおおよそ4年ほどかかったこともあり、デザイン発表会終了時には「やっと終わった～」と安堵しました。準備期間についてはWeb会議で東京本部、九州支部、沖縄地区会と月一の毎回30名程度の参加、当日会場設営・撤収などに至っては約90名体制での役割配置となり、準備となるWeb会議では東京本部・九州支部からの意見はこちらで想像していた内容よりより細かい内容での準備には感心させられました。また、沖縄地区会としてはデザイン発表会WGメンバーが本部からの要望に対して対応できたことは、誇らしい限りでした。当日は九州支部での団結を示す?かりゆしウエアでの参加については「九州支部はいいでしょう!」との気持ちでしたが、東京本部から参加の方は少しばかり嫉妬(しかますさ～)したかもしれませんでした。夕刻から始まった「夕陽を見る会」というビーチパーティーでは、日頃Web会議などでは真面目に話していた方もふくめ、参加者皆様がバーベキューなど飲食を楽しみ、水平線へ沈むきれいな夕日も見ることもできたこともあって、笑顔であったことが印象的でした。

「JSCA 構造デザイン発表会」が九州支部の沖縄で開催できたことは、東京本部方へも地方開催も可能との認識が広まったと思います。今後は数年に1回は地方でのデザイン発表会の開催が行われることに期待したいところです。

九州支部の皆様、「デザイン発表会お疲れ様でした。また、ありがとうございました。」九州支部のイベントが沖縄開催の場合は「また、沖縄地区会は何かしでかすので期待していてね～」

沖縄地区会の皆様、デザイン発表会お疲れ様でした。代表幹事として感謝いたします。

これからも、このデザイン発表会開催が出来たことで、これからのイベントについて一段とレベルアップしての地区会活動を期待いたします。